

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第555号（平成26年11月19日発行）

【今週号の主な内容】

《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 平成26年度 リサイクルポートセミナーの開催について（続報／553号から変更なし）
2. 第4回 酒田港国際資源循環フォーラム開催について（情報提供）
3. 平成26年度酒田港ポートセミナーの開催について

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 自民党港湾議員連盟総会を開催、港湾の整備・振興を決議
2. 交通政策審議会第58回港湾分科会を開催
3. 環境省が産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委開催（予定）

=====

《事務局からのお知らせ》

1. 平成26年度 リサイクルポートセミナーの開催について（続報／553号から変更なし）  
平成26年度リサイクルポートセミナー（毎年開催）につきまして、  
本年度は下記日程での開催予定で準備を進めております（申込期限は11月28日（金）です）。  
詳細については、添付の企画案（1027版／553号と同じです）をご確認下さい。

記

- ①日時 平成26年12月10日（水）14：00～17：00（セミナー）  
17：15～19：00（交流会）

②会場 第一ホテル東京シーフォート

2. 第4回 酒田港国際資源循環フォーラム開催について（情報提供）

特定非営利活動法人 庄内リサイクル産業情報センター・中野正幸様より

11月17日（月）に酒田港国際資源循環フォーラムが開催された旨の情報が提供されましたのでお知らせします。

詳細については、添付のファイルをご覧ください。

3. 平成26年度酒田港ポートセミナーの開催について

山形県県土整備部空港港湾課より平成26年度酒田港ポートセミナーの開催についてご案内がありました。なお、当協議会はセミナーの後援をしております。

日程は下記の通りです。詳細については、添付のパンフレットをご覧ください。

記

- ①日時 平成26年12月3日（水）セミナー：15：00～17：10

交流会：17:10～19:30

②場所 パレスグランデール（山形市荒楯町1-17-40）

セミナー：会場「アルカディア」、交流会：会場「エアランティス」

【事務局】

1. 自民党港湾議員連盟総会を開催、港湾の整備・振興を決議

自由民主党港湾議員連盟（望月義夫会長）総会が11月12日党本部で開かれ、27年度予算の必要額確保や税制の創設・延長などを内容とする「港湾整備・振興に関する決議」を満場一致で採択した。その後、議連有志が財務省主計局に決議案の実現を求める要望活動を行った。

総会開催にあたって望月会長は、「27年度予算については更なる予算増、要求の満額を目指して取り組まなければならない。年末の政府予算案のとりまとめに、港湾議連の力を示すことができるようよろしくお願いします」と挨拶した。

総会ではこの後、国土交通省の大脇港湾局長が港湾行政の最近動向について報告するとともに、平成27年度予算要求・税制について説明した。また港湾関係団体紹介・挨拶として、須野原日本港湾協会理事長、高島外貿埠頭連絡協議会会長、鈴木日本港湾空港建設協会連合会副会長が、それぞれの団体の取組状況や要望事項などを説明した。

【港湾空港タイムス】

2. 交通政策審議会第58回港湾分科会を開催

交通政策審議会第58回港湾分科会（分科会長・小林潔司京都大学教授）が11月14日、開催された。港湾の基本方針変更（答申案）について審議しこれを了承するとともに、港湾計画改訂として東京港、川崎港、横浜港、ならびに名古屋港、むつ小川原港、秋田港、能代港の各一部変更計画について審議し、いずれも原案通り大臣に答申されることになった。

今回の分科会では前任の黒田分科会長の任期満了に伴い、委員の互選により小林潔司京都大学教授を選任した。小林新会長は、「港湾はグローバル化が進み、高度な戦略性と確実な政策が求められている。ご協力を賜りながら審議会運営に努めたい」と挨拶した。

東京港、川崎港、横浜港の改訂計画については、国際戦略港湾「京浜港」に基づき、コンテナ分野における3港の機能分担を港湾計画に落とし込んだ内容になっている。

【港湾空港タイムス】

3. 環境省が産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委開催（予定）

環境省は11月25日（火）午後、千代田区大手町サンスカイルームにおいて、産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会合同会議（第35回）を開催する。会議は公開で行われる。

当日の議事は関連事業者等と引取業者に対するヒアリングが内容。関連事業者等からは一般社団法人日本ELVリサイクル機構、一般社団法人日本鉄リサイクル工業会、引取業者からは一般社団法人日本自動車整備振興会連合会が出席する。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####

## 第4回 酒田港国際資源循環フォーラム開催結果

- 1、日時 平成26年11月17日（月）15時00分～17時00分
- 2、場所 酒田市 ガーデンパレスみずほ 3階
- 3、参加者 65名
- 4、内容

酒田港が平成23年11月に日本海側拠点港（リサイクル部門）に選定されたことを受け、拠点化に向けた具体的なアクションを示し、酒田港を国際資源循環の拠点としていくための日本海側対岸諸国との情報交換・交流を通じて新たなビジネスモデル・ネットワークの構築を目指して平成24年から開催されているもので、今回が第4回目となります。

### [第4回酒田港国際資源循環資源フォーラムの内容]

#### (1)講演

- ・「アジアでのスクラップ需給と海外資源調達戦略について」：日本貿易振興機構アジア経済研究所 小島道一環境・資源研究グループ長  
アジア主要国の再生資源の輸入状況、中国・台湾・韓国の輸入状況とともに、日本の再生資源の輸出状況の説明、最近注目されているベトナム向け鉄スクラップ輸出動向の説明があり、日本が比較優位を持っている貴金属スクラップの取引を進めるための方向性に関する講演が行われた。
- ・「日本と世界、東北の鉄スクラップ需給の現状と展望」：(株)鉄リサイクリング・リサーチ 林誠一代表取締役  
第1点目として日本の鉄鋼生産の特徴とその変化要因、スクラップ国内需要とその展望、鉄スクラップ輸出の現状と展望と需給ギャップ展望の説明があり、第2点目として世界の粗鋼生産、製鋼プロセス、鉄スクラップの使用、その流通のグローバル化の進展、今後の展望の説明が行われた。さらに第3点目として東北の需給に関する説明があった。

#### (2)鼎談：テーマ「東北地方の鉄スクラップの需給状況、東日本大震災の影響、鉄スクラップの流通に酒田港はどう絡んでいけるか」

(出席者) 東北大学 劉庭秀准教授、日本貿易振興機構 児島道一グループ長、(株)鉄リサイクリング・リサーチ 林誠一代表取締役

(内容) 最初に劉准教授から韓国のスクラップ業界の状況に関しての説明があったのち、児島、林両氏との鼎談が行われた。

鼎談の内容は、次のとおり。

- ・韓国と日本とのスクラップ取引の今後
- ・今後のスクラップ取引が多様化する中での留意点
- ・今後の酒田港の展望につながる要素

最後に各氏から酒田港への次のような提言があった。

①韓国に近い地の利を活かし、メリット追求すべき。

小ロット、短納期を目標点にして考える

②多様な取引先を確保していくために大型の船が出せるような設備を考える。

③北朝鮮の動向次第では、北朝鮮→中国東北部ルート開拓

以上



入場  
無料!



平成26年

12/3(水) 15:00~ ● 受付 14:30~

※当日は受付にて名刺をご提示ください

# 酒田港ポートセミナー



## 会場アクセス



場所

**パレスグランデール**  
住所/山形市荒楯町1-17-40  
※駐車場あります

## プログラム 開会 15:00~ 会場 2F アルカディア

主催者挨拶 ●山形県 ●酒田市 来賓挨拶 ●国土交通省

酒田港プレゼンテーション ●酒田港の取り組み【山形県空港港湾課】

講演 ●花王株式会社 酒田工場 工場長:谷本均氏

「花王(株)酒田工場の概要と酒田港利用について」

事例発表 ●有限会社 舟形マッシュルーム 営業企画部 部長:長澤大輔氏

情報提供 ●酒田港を取り巻く情勢について【東北国際物流戦略チーム】

国土交通省東北地方整備局港湾空港部港湾物流企画室長:渡辺淳一氏



## やまがた舞子の演舞!



## 交流会 17:10~

会場 2F エールアンティス

## 『やまがた舞子と酒田舞娘の演舞』

## 酒田舞娘も山形に!



■主催  
山形県

■共催  
酒田市、酒田リサイクルポート推進協議会、山形県港湾協会、酒田港湾振興会、「プロスパーポートさかた」ポートセールス協議会、NPO法人庄内リサイクル産業情報センター

■後援  
国土交通省東北地方整備局、酒田商工会議所、(一社)東北経済連合会、(一社)山形県産業廃棄物協会、リサイクルポート推進協議会、山形県企業誘致促進協議会、(公財)山形県企業振興公社



## ■セミナー開催目的

酒田港は山形県唯一の重要港湾であり、山形県と対岸諸国とを結ぶ国際物流拠点として重要な役割を担っております。平成15年4月にリサイクルポートの指定、平成23年11月には日本海側拠点港（リサイクル貨物）の選定を受け、リサイクルに関連する取扱貨物量の増加や港湾周辺へのリサイクル関連企業の立地も進んでいます。環日本海の重要な港湾として「酒田港」を県内陸部及び近県の企業の皆様にもっと知って頂き、酒田港を積極的に利用してもらうために本セミナーを開催します。

## 講演・事例発表企業のご紹介

### 花王株式会社酒田工場

創業 1940年  
所在地 酒田市大浜  
代表者 工場長 谷本 均



#### 会社概要

ヒューマンヘルスケア製品の入浴剤「バブ」や、蒸気温熱シート「めぐリズム」などを生産。日本国内や海外でのベビー用紙おむつの急速な需要増にともない安定的な供給体制を強化するため、工場内にサニタリー製品の国内三番目の工場を新設、2014年春に稼働開始した。現在酒田港を利用して、原材料などの輸入やサニタリー製品などを輸出している。

### 有限会社舟形マッシュルーム

創業 2001年  
所在地 最上郡舟形町長沢  
代表者 代表取締役 長澤光芳



#### 会社概要

フレッシュマッシュルームの生産と、自社の加工場における水煮や生スライス、乾燥マッシュルームなどの業務用一次加工品の製造、廃菌床を原料とした堆肥の製造、販売を行っている。東日本大震災を機に酒田港を利用。培養土や生産機材などを輸入している。

## 酒田港ポートセミナー参加申込用紙

申込締切: 11/26 (水)

### セミナー参加(無料)

参加者氏名  
※複数記名可

所属組織名

所属部署名

電話番号

交流会参加(無料) ※セミナー終了後17:10より交流会を開催します。

○をつけて  
ください

・参加する

名

・参加しない

## 申し込み先

空港港湾課 **FAX: 023-630-2664**  
メールにてお申込みの場合は、上記必須事項を明記の上  
**yminato@pref.yamagata.jp**まで送信ください。

※本参加申込書にご記入いただいた個人情報、厳正な管理のもとで安全に管理し、本セミナー実施に関する目的以外には使用いたしません。

## お問合せ先

山形県県土整備部 空港港湾課  
担当: 渡部・五十嵐  
TEL: 023-630-2625